報道関係者各位

2021年12月20日
日本証券業協会

東京大学×日本証券業協会　SDGsシンポジウム
「カーボンプライシングと市場機能の可能性探求」の開催について

東京大学*と日本証券業協会では、2022年1月20日（木）、カーボンプライシングと市場機能の可能性探求をテーマとしたシンポジウムについて、東京大学本郷キャンパス構内会場による参加に加えZoom参加も可能とするハイブリット方式で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

カーボンニュートラル実現のため、気候変動問題と経済・社会的課題の同時解決を目指す経済的手法として、温室効果ガス費用を可視化する点について注目を集めるカーボンプライシングに関して、本シンポジウムでは、市場機能を通じた価格シグナル形成、クレジット取引、排出量取引や金融商品等といった様々な観点から、市場機能の可能性、果たすべき役割等を探求する機会としたいと存じます。具体的なプログラム内容は別添リーフレットをご覧ください。

ご参加いただける場合には、下記リンク先よりお申込みいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。報道関係者の皆さまのご参加をお待ちしております。

【登録フォーム】

https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/sharen0120sympo/

（※）東京大学ホームページリンク先にジャンプします。

以　上

○本件問合せ先：日本証券業協会　SDGs推進本部 SDGs推進室　森川、小田、奥村
（TEL：03-6665-6783）

*　東京大学では、2015年の五神前総長着任時、大学全体の高次元の目標としてSDGsを盛り込んだ長期ビジョンを掲げています。2017年7月には、SDGsを活用した「知」への投資（知へのリスクマネーの供給、資金の好循環）を目指し、総長を本部長とする「未来社会協創推進本部」（FSI）を設置し、SDGsに関連する取組みを実施しています。

東京大学 × 日本証券業協会

SDGsシンポジウム

カーボンプライシングと市場機能の可能性探求

カーボンニュートラル実現のため、気候変動問題と経済・社会的課題の同時解決を目指す経済的手法として、温室効果ガス費用を可視化する点について注目を集めるカーボンプライシング。市場機能を通じた価格シグナル形成について、クレジット取引、排出量取引や金融商品等といった様々な観点から、市場機能の可能性、果たすべき役割等を探求する機会としたい。

2022.1/20 THU
18:00-

東京大学構内 伊藤謝恩ホール 又は オンライン

文京区本郷７－３－１ 伊藤国際学術研究センター 地下二階（会場定員１００名）

プログラム

シンポジウム時間：90分

17:30 **開場・受付開始**

18:00 **主催者開会挨拶**

東京大学 執行役・副学長 社会連携本部長
津田 敦 氏

18:10 **基調講演**

カーボンプライシングとは

東京大学 公共政策大学院 院長
大学院経済学研究科 教授
大橋 弘 氏

18:30 **パネルディスカッション**

カーボンプライシングにおける市場機能の可能性と役割の探求

モデレーター
東京大学 大学院経済学研究科 教授 柳川 範之 氏

元木 悠子 氏

梶川 文博 氏

島本 幸治 氏

パネリスト
・みずほリサーチ & テクノロジーズ 環境エネルギー第１部
地球環境チーム 課長 元木 悠子 氏
・経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長 梶川 文博 氏
・ソシエテ・ジェネラル証券 代表取締役社長 島本 幸治 氏

19:15 **質疑応答**

モデレーター、パネリストに対する質疑応答

19:30 **終了**

参加登録（無料）はこちら

https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/sharen0120sympo/

主催

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO
UTokyo FSI Symposium
JSDA 日本証券業協会 Japan Securities Dealers Association

※予告なく記載内容は変更される場合があります。
※開場参加登録者が定員（100名）に達した場合、オンラインによる参加をお願いする場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインのみの開催とする場合もあります。